

パソコンやスマートフォンから 海する へアクセスします。(海するHPアドレス <https://www.msil.go.jp/>)

トップページ | **操作説明** | 海するAPI | [モニタリング海する](#) | 報道機関のみなさまへ | 海洋教育コンテンツ

マニュアル



海洋状況表示システム

MDA Situational Indication Linkages

「海する(海洋状況表示システム)」は、さまざまな海洋情報を集約し、地図上で重ね合わせて表示できる情報サービスです。
掲載情報は地形・地質、海象、気象、安全、防災、水産、海域利用・保全といった幅広い分野から200種類以上！
船舶の運航管理や漁業、防災、海洋レジャー、海洋開発など多くの分野で利用可能です。

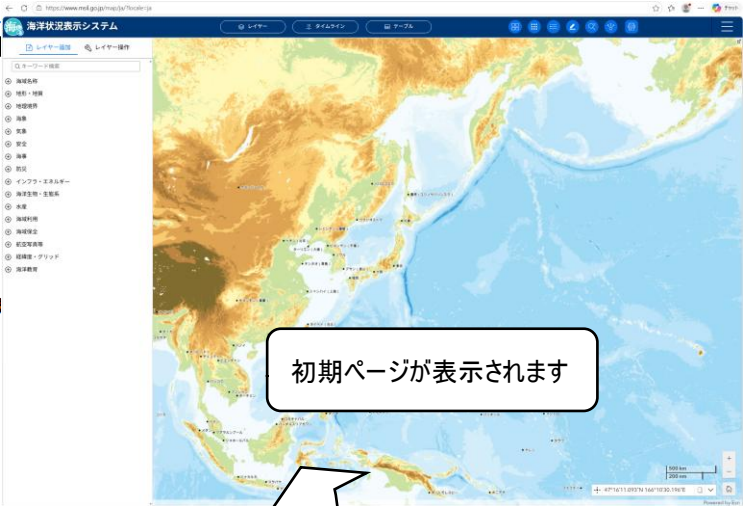


地図

データカタログ

調整中・一時掲載休止中の情報項目

最新情報



※インターネットブラウザはお好みで問題ありませんが最新版の使用を推奨します
※詳細なマニュアルは画面上部にリンクされている「操作説明」をご覧ください



海洋状況表示システム

操作説明書



2026 年 2 月 1 日

画面 (UI含む) の概要説明です。

各種画面操作(パネル)

各種ツール(ボタン)

オプション

レイヤー追加

レイヤー操作

キーワード検索

④ 海域名称

④ 地形・地質

④ 地理境界

④ 海象

④ 気象

④ 安全

④ 海事

④ 防災

④ インフラ・エネルギー

④ 海洋生物・生態系

④ 水産

④ 海域利用

④ 海域保全

④ 航空写真等

④ 経緯度・グリッド

④ 海洋教育

データカタログ

操作説明書

利用規約

ご意見・お問い合わせ

レイヤー操作部

地図領域

地図コマンド

50 km

20 nm

34°00'29.444"N 131°55'57.453"E

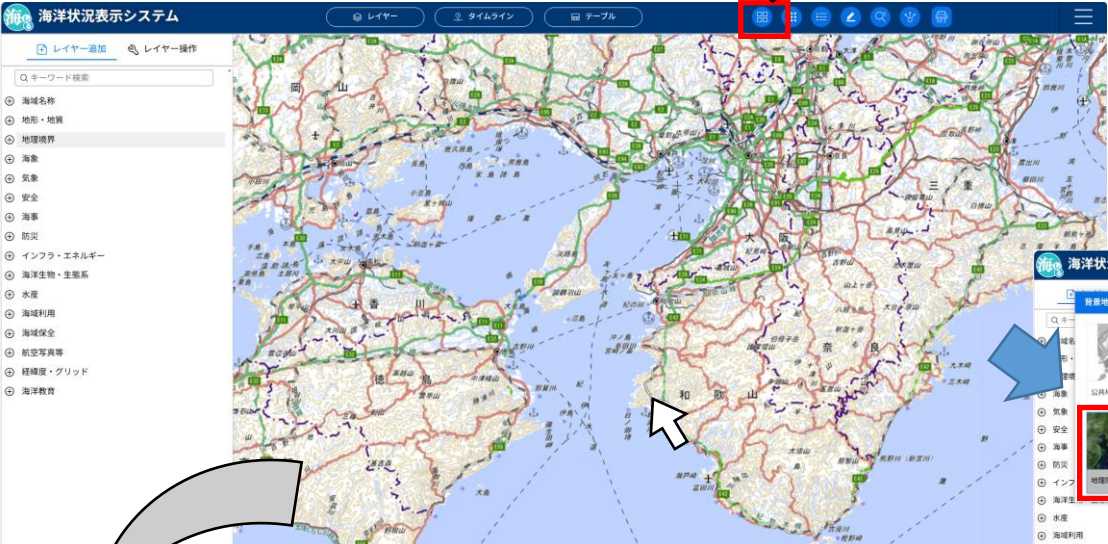
※ レイヤーとは海しるで表示できるデータのことです
※ レイヤーの種類によっては「タイムライン」や「テーブル」を使用できます

<地図コマンド>
位置座標、距離尺(スケール)のほか
拡大・縮小や初期位置

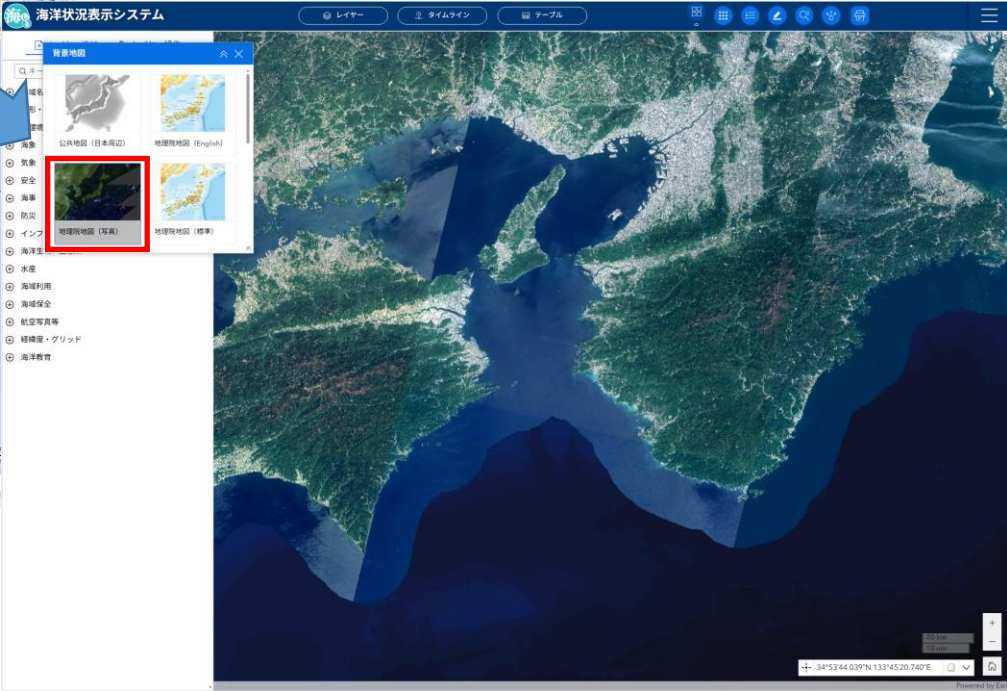
※基本的な操作方法是次ページから紹介します

地図の背景図を変更します。

背景地図ツール



地理院地図(写真)をクリックすると背景が空中写真に切り替わります



選択可能な背景図が表示されます



< 選択可能な背景図 >

公共地図、地理院地図(日本語、英語)、空中写真、海底地形図など

グリッド(縦線と横線)を表示します。

グリッド設定ツール

海しる 海洋状況表示システム

レイヤー タイムライン テーブル

レイヤー追加 レイヤー操作

キーワード検索

海域名称

地形・地質

地理境界

海象

気象

安全

海事

防災

インフラ・エネルギー

海洋生物・生態系

水産

海域利用

海域保全

航空写真等

経緯度・グリッド

海洋教育

グリッド設定

グリッド表示設定

経緯度グリッド

ON

UTMグリッド

OFF

タイル座標

OFF

低レベルではグリッド表示されません。

表示させたいグリッドをON

グリッドが表示されます

経緯度グリッド
→経度と緯度の線を表示

UTMグリッド
→UTM座標で線を表示

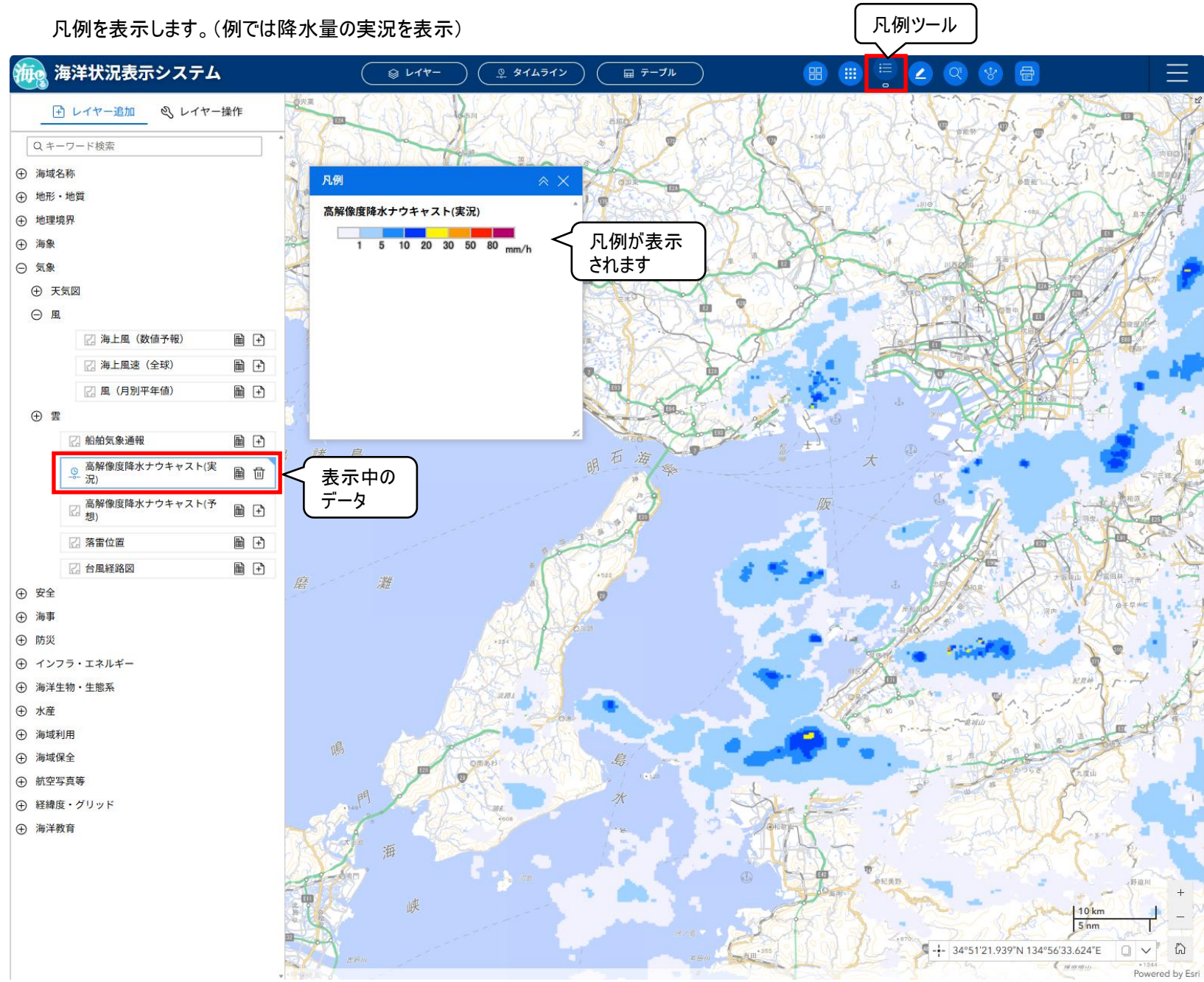
タイル座標
→自動的に番号を付して区割りされます
(縮尺に応じて番号変化)

50 km
20 nm

33°31'10.146"N 131°57'04.293"E

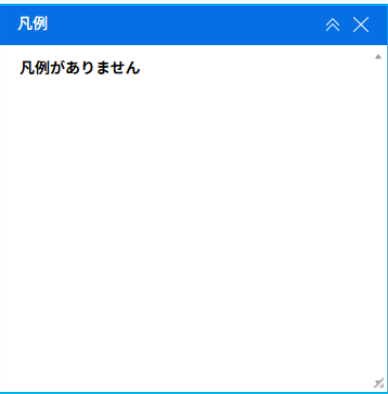
Powered by Esri

凡例を表示します。(例では降水量の実況を表示)



表示(選択)しているレイヤーのみ
凡例が表示されます

※表示するレイヤーがない場合(下图)



図形の作成や距離計算などを行います。



各ツールについて

〔読み込み〕
図形を取り込みます
海しる以外で作成したデータも対応しているため読み込み可能です

〔保存〕
地図上に表示されている図形をファイルに保存します
保存形式は“GeoJSON” “kml” “csv”に対応しています

〔作図〕
指定したタイプ毎に作図します
位置や形だけでなく、図形に属性として情報を付与することも可能です

〔算出〕
地点を指定して距離や方向を算出します
方向と距離を指定して任意の座標を求めることも可能です

〔リスト〕
読み込んだまたは作図した図形を一覧でリスト表示します
編集や削除等も可能です

〔全削除〕
地図上の図形を全て削除します

ほか、図形や図形のラベル表示／非表示が可能です

外部ファイルを読み込みます。(例では五管区水路通報kmlデータを使用)

※データは「ドラッグ&ドロップ」または「ファイルを選択」のどちらかで入力します



ファイルをドラッグ&ドロップ

「読み込み」タブ
をクリック

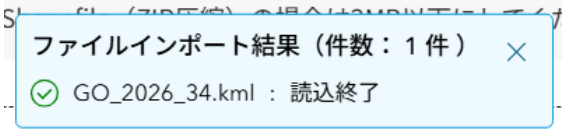
作図/算出ツール

または「ファイルを選
択」をクリック

ファイルを入力するとファイル名
が表示されます

読み込みが成功するとメッセージが
表示されます

※右例では五管区水路通報8年34号を入力



※メッセージ確認後に右上の「×」をクリック



地図上の図形ファイルを保存します。

作図/算出ツール

「保存」タブをクリック

「保存形式」を選択

「保存ファイル名」を指定

「保存」をクリック

内容よければ「OK」をクリック

以下の内容でファイルを保存しますか？ ×

ファイル名: SavedGraphics.csv 出力形式: csv

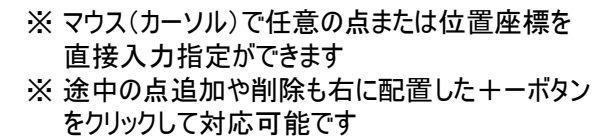
OK キャンセル

```
1 GraphicType,Longitude,Latitude,ShapeNo,Style,Size,Color,Transparency,OutlineStyle
2 Icon,135.1495,33.874306,1,https://maps.google.com/maps/files/kml/shapes/placemark
3 Polygon,134.660217,34.777502,2,塗りつぶし,,#ff0000,50,実線,2,#ff0000,100,...★8
4 Polygon,134.657436,34.778524,2,塗りつぶし,,#ff0000,50,実線,2,#ff0000,100,...★8
5 Polygon,134.65845,34.781777,2,塗りつぶし,,#ff0000,50,実線,2,#ff0000,100,...★8
6 Polygon,134.660245,34.783058,2,塗りつぶし,,#ff0000,50,実線,2,#ff0000,100,...★8
7 Polygon,134.660423,34.783345,2,塗りつぶし,,#ff0000,50,実線,2,#ff0000,100,...★8
8 Polygon,134.660723,34.783829,2,塗りつぶし,,#ff0000,50,実線,2,#ff0000,100,...★8
9 Polygon,134.661787,34.78378,2,塗りつぶし,,#ff0000,50,実線,2,#ff0000,100,...★8
10 Polygon,134.662291,34.784182,2,塗りつぶし,,#ff0000,50,実線,2,#ff0000,100,...★8
11 Polygon,134.662686,34.784012,2,塗りつぶし,,#ff0000,50,実線,2,#ff0000,100,...★8
12 Polygon,134.662685,34.784,2,塗りつぶし,,#ff0000,50,実線,2,#ff0000,100,...★8
13 Polygon,134.662814,34.783988,2,塗りつぶし,,#ff0000,50,実線,2,#ff0000,100,...★8
14 Polygon,134.662812,34.783981,2,塗りつぶし,,#ff0000,50,実線,2,#ff0000,100,...★8
15 Polygon,134.662847,34.783957,2,塗りつぶし,,#ff0000,50,実線,2,#ff0000,100,...★8
16 Polygon,134.66278,34.783567,2,塗りつぶし,,#ff0000,50,実線,2,#ff0000,100,...★8
17 Polygon,134.662796,34.783563,2,塗りつぶし,,#ff0000,50,実線,2,#ff0000,100,...★8
18 Polygon,134.663034,34.783556,2,塗りつぶし,,#ff0000,50,実線,2,#ff0000,100,...★8
19 Polygon,134.664083,34.783138,2,塗りつぶし,,#ff0000,50,実線,2,#ff0000,100,...★8
20 Polygon,134.664105,34.783138,2,塗りつぶし,,#ff0000,50,実線,2,#ff0000,100,...★8
21 Polygon,134.664158,34.783776,2,塗りつぶし,,#ff0000,50,実線,2,#ff0000,100,...★8
22 Polygon,134.664221,34.783825,2,塗りつぶし,,#ff0000,50,実線,2,#ff0000,100,...★8
23 Polygon,134.665114,34.783148,2,塗りつぶし,,#ff0000,50,実線,2,#ff0000,100,...★8
```

※例では“csv”形式で保存
※形式を崩さなければ海しるで読込できます

※保存する図形はあらかじめ読込または作成しておく必要があります

作図/算出ツール



※例では「線」を作図しています

任意の位置(座標)を算出、または距離や方向を計測します。

作図/算出ツール

「算出」タブをクリック

始点を入力または指定

方位、距離を入力

クリックすると始点からの方位

算出を・距離で次点を算出

「続けて算出」をクリックすると次点を始点に継続できます

「方位距離算出」を使えば、2地点間の方位と距離を算出できます

「方位距離算出」

始点

終点

算出

※ 始点、終点ともにマウス(カーソル)で任意の点または位置座標を直接入力指定できます

※ 灯台などの基準位置からの方位、距離を求めたい場合に便利です
※ 方位角で分や秒を指定する場合は度に換算するか “-(ハイフン)” で区切って入力してください
→ (例) 方位220度30分の場合は 220-30 と入力

図形を一覧表示(リスト)します。

作図/算出ツール

「リスト」タブをクリック

図形をクリック

クリック

海洋状況表示システム

レイヤー追加 レイヤー操作

Q キーワード検索

- 海域名称
- 地形・地質
- 地理境界
- 海象
- 気象
- 安全
- 海事
- 防災
- インフラ・エネルギー
- 海洋生物・生態系
- 水産
- 海域利用
- 海軍安全
- 航空写真等
- 経緯度・グリッド
- 海洋教育

作図/算出

読み込み 保存 作図 算出 **リスト** 全削除

No	タイトル	操作	長さ・面積
1	★8年225項	編集 結合/分解 コピー 削除	長さ: 3.142 km 面積: 0.785 km ²
2	★8年226項	編集 結合/分解 コピー 削除	長さ: 0.958 km 面積: 0.073 km ²
3	★8年227項	編集 結合/分解 コピー 削除	長さ: --- 面積: ---
4	★8年228項	編集 結合/分解 コピー 削除	長さ: --- 面積: ---
5	★8年229項	編集 結合/分解 コピー 削除	長さ: 58.182 km 面積: 269.370 km ²
6	★8年230項	編集 結合/分解 コピー 削除	長さ: 1.956 km 面積: 0.080 km ²
7	★8年231項	結合/分解 削除	長さ: --- 面積: ---

☒ 図形を表示
☐ ラベルを表示 タイトル 大 中 小 長さ km 面積 km²

地図上に表示されている図形がリストで一覧表示されます

任意のデータをクリック、または地図上の図形をクリックすると図形の情報(属性)がポップアップして表示されます

※例では事前に五管区水路通報kmlデータを読み込みしています

「リスト」タブの右隣りにある「全削除」をクリックすると、地図上の図形全てを削除できます
1つつず削除したい場合は リストから削除 してください

⚠ 図形を削除します

全ての図形を削除します。よろしいですか？

「OK」をクリックすると全ての図形を削除

OK キャンセル

★8年229項

ズーム

紀伊水道南方 射撃訓練

紀伊水道南方において、巡視艇による射撃訓練が実施される。

期 間 令和8年9月18日 0900～2400

区 域 33-34.8N 135-03.0Eを中心とする半径5海里の円内

備 考 国際信号旗「UY」及び「NE4」を掲揚
 紅色閃光灯を点灯

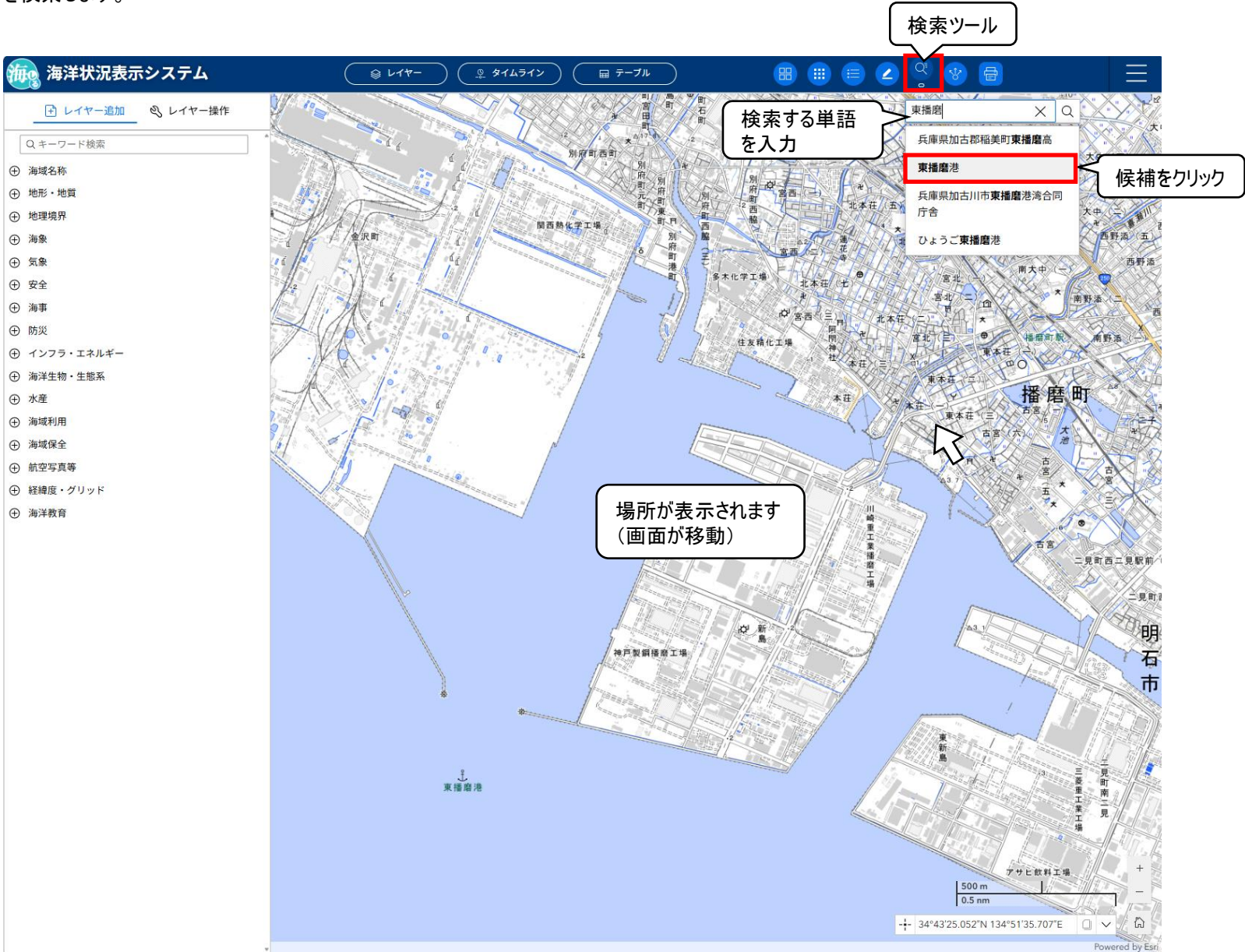
海 図 W77

出 所 五本部警備救難部

情報の内容を確認できます

※ タイトルや内容などの属性情報がなければ何も表示されません (ポップアップは表示されます)

住所または場所を検索します。



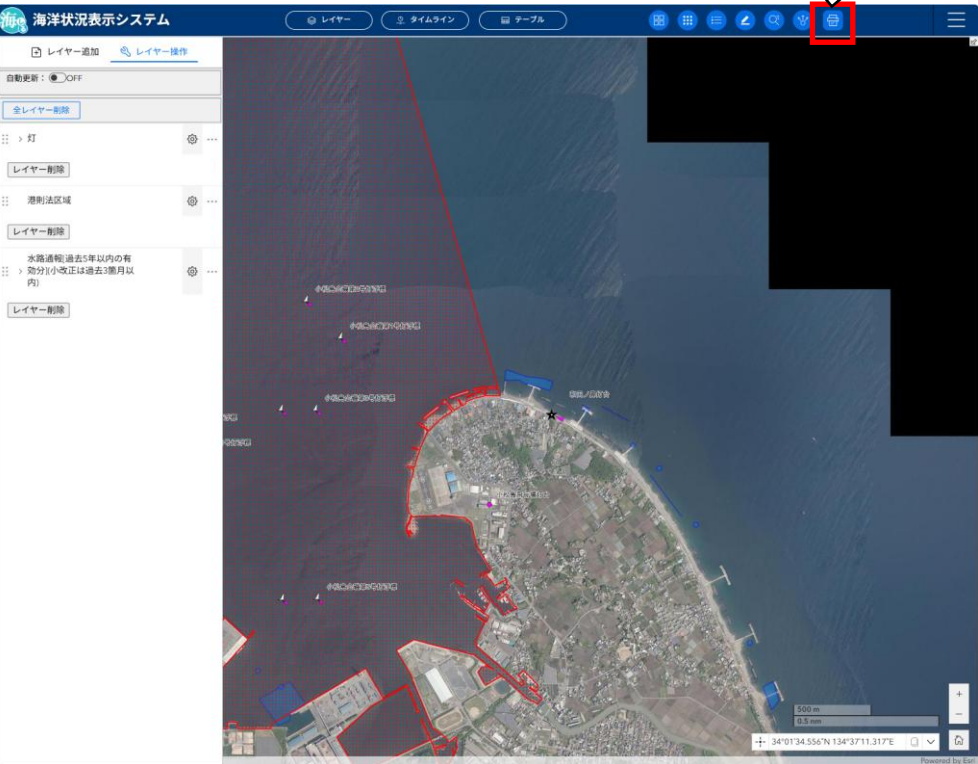
表示した地図画面を共有します。

※表示されるデータから縮尺、見た目の調整まで全てそのまま共有できます

※ リンクは途中で編集や改行すると正しく動かない場合があります

地図画面を印刷します。

印刷ツール



<印刷プレビューが表示されます>

用紙サイズや印刷タイトル
など設定できます



方位記号と凡例を
調整できます

好みに調整
して「印刷」
をクリック

印刷画面を
終了したい
ときにクリック

地図はドラッグして
移動可能

<印刷時の注意>

- ・ 事前に印刷したい状態へ地図画面（データ表示など）を調整しておきます
- ・ 凡例の表示位置は右下固定のため、配置を考えて地図や用紙サイズを調整してください
- ・ ブラウザの「戻る」で前の画面には戻れません（地図が初期化されるため注意）
- ・ 印刷画面を終了したい場合は「元の画面に戻る」をクリックしてください

様々な情報を表示させます。(例として船舶通航量を表示)

海洋状況表示システム

レイヤー追加

レイヤー操作

キーワード検索

海域名称

地形・地質

地理境界

海象

気象

安全

海事

港則法適用港

港湾

漁港

灯

航路

海上保安部署等

沈船

海底障害物

指定錨地

検査錨地

水路測量特設区域

船舶通航量

船舶通航量(月別) - 2024年

防災

インフラ・エネルギー

海洋生物・生態系

水産

海域利用

海域保全

航空写真等

経緯度・グリッド

海洋教育

メニューにある「船舶通航量」をクリック

右端にあるボタンをクリック

海洋状況表示システム

レイヤー追加

レイヤー操作

キーワード検索

海域名称

地形・地質

地理境界

海象

気象

安全

海事

港則法適用港

港湾

漁港

灯

航路

海上保安部署等

沈船

海底障害物

指定錨地

検査錨地

水路測量特設区域

船舶通航量

船舶通航量(月別) - 2024年

防災

インフラ・エネルギー

海洋生物・生態系

水産

海域利用

海域保全

航空写真等

経緯度・グリッド

海洋教育

レイヤー追加

レイヤー操作

自動更新: OFF

全レイヤー削除

船舶通航量(月別) - 2024年

Annual

Jan

Feb

Mar

Apr

「船舶通航量」が表示された

海洋状況表示システム

レイヤー

タイムライン

サークル

34°45'05.492"N 133°58'56.942"E

Powered by Esri

メニューの「レイヤー操作」タブでは表示した情報に対して様々な操作をすることができます
「船舶通航量」では、下記の操作が可能です。

自動更新のON/OFF切り替え

月毎の表示設定

各データの表示/非表示を切り替え

表示データの透明度設定

表示している情報の詳細を確認します。(例として水路通報を表示)

海しる 海洋状況表示システム

レイヤー追加

レイヤー操作

キーワード検索

海域名称

地形・地質

地理境界

海象

気象

安全

海上分布予報

水路通報・航行警報

航行警報(過去5年以内の分)

水路通報(過去5年以内の有効分)(小改正は過去3箇月以内)

水路通報・航行警報(リンク)

釣りの事故マップ

地方海上警報

地方海上予報

気象特別警報・警報・注意報

大津波警報・津波警報・津波注意報

米軍演習区域

海賊・武装強盗(ReCAAP)

船舶事故ハザードマップ(運輸安全委員会)

リーフカレント情報(沖縄)

海事

防災

インフラ・エネルギー

海洋生物・生態系

水産

海域利用

海域保全

航空写真等

経緯度・グリッド

海洋教育

高砂市

加古川

加古郡稲美町

神戸市西区

明石市

淡路市

2 km

2 nm

34°45'10.341"N 134°42'08.474"E

Powered by Esri

メニューにある「水路通報」をクリック

右にあるボタンをクリック

メタデータがポップアップ表示します

メタデータ

水路通報(過去5年以内の有効分)(小改正は過去3箇月以内)

情報名	水路通報(過去5年以内の有効分)(小改正は過去3箇月以内)
分類	安全/水路通報・航行警報
説明	船舶交通の安全のために必要な情報(航路標識の変更、海上演習、海上作業等)
提供機関	海上保安庁
問合せ先	海上保安庁海洋情報部航海情報課水路通報室 03-3595-3647 jcg-tuho@navarea11.go.jp
関連URL	https://www1.kaiho.mlit.go.jp/TUHO/tuho/nm.html
出典	-
関係法令	-
利用に関する制限事項	水路通報及び航行警報は、専ら航海の安全に必要な情報を提供するものであり、各国が発布した諸法規及び宣言等を承認するものではありません。最新の情報については「関連URL」を参照してください。
海しるAPI提供	https://portal.msil.go.jp
外部API提供	-
更新間隔	1時間
表示間隔	1時間
最終更新日	
掲載開始日	2019/03/27

選択したレイヤー(表示している情報)、この例では「水路通報」に関する詳細な情報を確認できます。

情報の出所、問い合わせ先やデータ更新に関する情報など確認することができます。

サブレイヤーを表示します。(例として灯を表示)

海洋状況表示システム

レイヤー追加

レイヤー操作

キーワード検索

海域名称

地形・地質

地理境界

海象

気象

安全

海事

港則法適用港

港湾

漁港

航路

海上保安部署等

沈船

海底障害物

指定錨地

検査錨地

水路測量特級区域

船舶通航量

防災

インフラ・エネルギー

灯

海洋状況表示システム

レイヤー

タイムライン

テーブル

レイヤー追加

レイヤー操作

自動更新: OFF

全レイヤー削除

レイヤー削除

灯

灯台

灯浮標

灯標

灯(その他)

「灯」の左にある下向き記号をクリック

メニューにある「灯」をクリック

右端にあるボタンをクリック

「レイヤー操作」へ切り替え

サブレイヤー

地図

500 m

0.5 nm

34°47'20.970"N 134°35'28.561"E

Powered by Esri

※「灯」というレイヤーに灯台や灯浮標など同じ種類のデータがサブレイヤーとしてまとめられています(サブレイヤーそれぞれ別に操作が可能)

表示したい情報を検索します。(例として漁業権を検索)

海洋状況表示システム

レイヤー追加 レイヤー操作

Q 漁業権

- ⊕ 海域名称
- ⊕ 地形・地質
- ⊕ 地理境界
- ⊕ 海象
- ⊕ 気象
- ⊕ 安全

「キーワード検索」入力欄へ
検索したい単語を入力して
キーボードの“Enter”キーを
押します



海洋状況表示システム

☒ レイヤー追加
 ☐ レイヤー操作

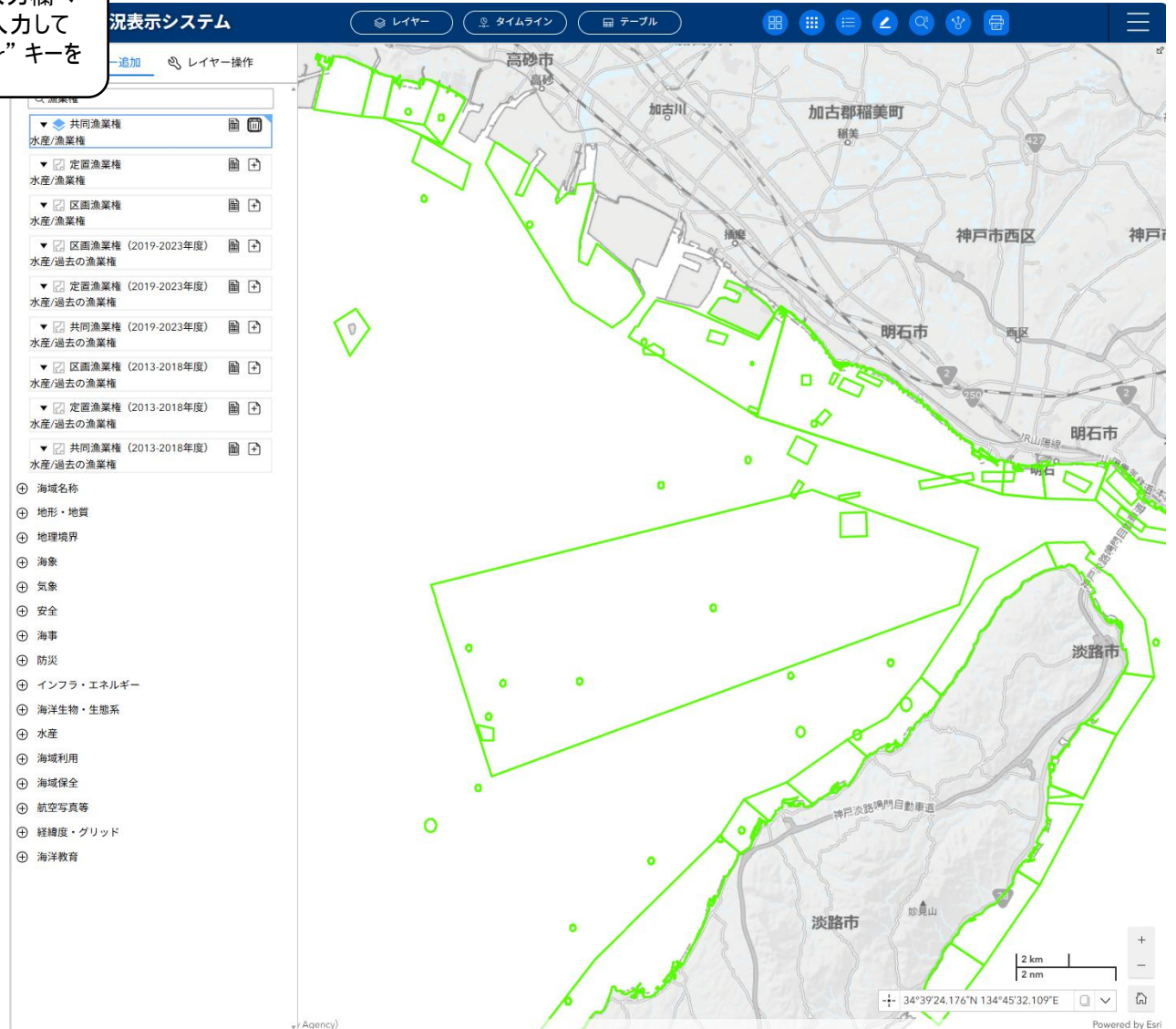
▼ ☒ 共同漁業権		☒
水産/漁業権		
▼ ☒ 定置漁業権		☒
水産/漁業権		
▼ ☒ 区画漁業権		☒
水産/漁業権		
▼ ☒ 区画漁業権 (2019-2023年度)		☒
水産/過去の漁業権		
▼ ☒ 定置漁業権 (2019-2023年度)		☒
水産/過去の漁業権		
▼ ☒ 共同漁業権 (2019-2023年度)		☒
水産/過去の漁業権		
▼ ☒ 区画漁業権 (2013-2018年度)		☒
水産/過去の漁業権		
▼ ☒ 定置漁業権 (2013-2018年度)		☒
水産/過去の漁業権		
▼ ☒ 共同漁業権 (2013-2018年度)		☒
水産/過去の漁業権		

☒ 海域名称
 ☐ 地形・地質

「共同漁業権」
をクリック

検索結果が
表示されます

選択したレイヤー、この例では「共同漁業権」に関するデータが地図上に表示されます。



※漁業権は過去のデータも登録されているため取り扱いにご注意ください(年が括弧書きされていないものが最新)

パネルを操作します。(レイヤーの表示／非表示ほか)

海しる 海洋状況表示システム

レイヤー

タイムライン

テーブル

レイヤー追加

レイヤー操作

キーワード検索

① 海域名称

② 地形・地質

③ 地理境界

④ 海象

⑤ 気象

⑥ 安全

⑦ 海事

⑧ 防災

⑨ インフラ・エネルギー

⑩ 海洋生物・生態系

⑪ 水産

⑫ 海域利用

⑬ 海域保全

⑭ 航空写真等

⑮ 経緯度・グリッド

⑯ 海洋教育

パネルにある「レイヤー」をクリック

「レイヤー操作」をクリックすると表示中のレイヤーを操作できます

海しる 海洋状況表示システム

レイヤー追加

レイヤー操作

自動更新: OFF

全レイヤー削除

潮流推算(瀬戸内海)

レイヤー削除

2026/09/14 [JST]

「レイヤー」が消えた(非表示)

※ 上例では「潮流推算」を表示させています

※ 「レイヤーが表示されていない状態」で、パネルにある「レイヤー」をクリックするとレイヤーが再表示されます

タイムライン＝時系列情報を操作します。(対応しているデータのみ、例として潮流推算を表示)

海しる

海洋状況表示システム

レイヤー追加

レイヤー操作

キーワード検索

海域名称

地形・地質

地理境界

海象

水温

海流

潮流

潮流推算

潮流推算(瀬戸内海)

潮流推算[リンク]

潮汐

波

塩分

海水

海しる

海洋状況表示システム

レイヤー追加

レイヤー操作

自動更新: OFF

全レイヤー削除

潮流推算(瀬戸内海)

レイヤー削除

2026/09/14 [JST]

※「潮流推算」は時系列に対応しています

海しる

海洋状況表示システム

レイヤー

タイムライン

テーブル

パネルにある「タイムライン」をクリック

データによってはクリックして詳細を確認することができます

表示中のデータ範囲をクリックすることで範囲を変更できます

右端にあるボタンをクリック

クリックすると「全体の時間範囲」や目盛りの単位を確認することができます

画面下部に「タイムライン」が表示された

表示時間を変更できます
(左から1つ前に戻る、自動再生、1つ先へ進む)

再生の速度を変更できます

テーブル＝登録情報を操作します。(対応しているデータのみ、例として等深線を表示)

海しる 海洋状況表示システム

レイヤー追加

レイヤー操作

キーワード検索

海域名称

地形・地質

海底地質

底質

等深線

地理境界

レイヤー追加

レイヤー操作

自動更新: OFF

全レイヤー削除

等深線

レイヤー削除

透過表示

フィルタの設定

テーブルに追加

メタデータ

海しる 海洋状況表示システム

レイヤー

タイムライン

テーブル

パネルにある「テーブル」をクリック

データによってはクリックして詳細を確認することができます

右端にあるボタンをクリック

「レイヤー操作」をクリック

右にある「…」をクリック

画面下部に「テーブル」が表示された表形式で登録データを確認できます

表を操作※します

選択したデータは水色網掛けされます

「テーブルに追加」をクリック

データの総数を確認できます

OBJECTID	Depth	SHAPE_Length
1	200	2,490,323.7893917975
2	200	4,356,185.803582118
3	200	1,263,483.4154900773
4	200	1,919.283811893456

合計: 9,681 | 選択: 1

※「等深線」はテーブルに対応しています

※ 表で操作できることは選択／選択解除や列の表示／非表示のほかフィルタ検索です
※ 操作は左から選択表示等、選択解除、列表示等及びフィルタ検索などです(詳細は次ページ参照)
※ 画面に表示されていないデータも表に含まれています

テーブル＝登録情報を操作します。(対応しているデータのみ、例として等深線を表示)

操作コマンド(以下、左から説明)

その他のコマンド

【選択セットの表示】
表の任意データを選択している場合に操作可能です
クリックするたびに「全てのデータを表示」か「選択しているデータのみ表示」かを切り替えることができます

【選択の解除】
表の任意データを選択している場合に操作可能です
データの選択を解除し全てのデータを選択していない状態にします

【列の表示/非表示】
テーブルに表示する列の表示と非表示を切り替えます
表示したい列に☑を付けてください
なお、「検索」とありますが列のデータを検索するわけではなく、大量にある列(名)を調べる目的で使います
※一部、非表示にできない列があります

【その他のコマンド】
全てのデータまたは選択したデータに対して特定の操作を実行します
例えば選択しているデータに対し「ズーム」をクリックすると、そのデータにズームインします
「フィルターの設定」については右図を参照してください

※フィルターの条件は各種あります
データが数値か文字かで使用する条件も変わりますので適切な条件を設定してください

(データが数値の場合)
等しい/等しくない、以上/以下、より小さい/大きい
間にある/ない、いずれかである/でもない
空白である/でない

(データが文字の場合は一部の選択肢が変わります)
始まる/始まらない、終わる/終わらない、含む/含まない

「フィルターの設定」について

選択済み (1)

ズーム

画面移動

マップ上に表示

すべてのデータ (9681)

フィルターの設定

ズーム

画面移動

全てのデータに対して実行します

フィルターの設定

等深線

123 Depth

に等しい

20

表示される候補の中から「20」をクリックして選択します

※ データや条件によっては選択肢が表示されないため直接、値を入力します

フィルターを有効にするかどうか

列を「Depth」、条件を「に等しい」とします

(例) 20m等深線のみ表示

地図上のデータをクリックすると詳細を確認できます

等深線

Depth

20

【複数の条件指定も可能です】

フィルターの設定

等深線

AND OR

123 OBJECTID

に等しい

123 OBJECTID

に等しい

表が指定した条件に合致するデータのみ表示されます

OBJECTID	Depth	SHAPE_Length
6811	20	757,350.2256189848
6812	20	4,240,699.7736072
6813	20	3,887,9560236190655
6814	20	109,320.98193656669

海しるに登録されたデータを取得します。（海しるAPI利用、取得できるデータはカタログで確認できます）

[トップページ](#) | [操作説明](#) | [海しるAPI](#) | [モニタリング海しる](#) | [報道機関のみなさまへ](#) | [海洋教育コンテンツ](#) | [English](#)

APIはここをクリック

海洋状況表示システム

MDA Situational Indication Linkages

「海しる(海洋状況表示システム)」は、さまざまな海洋情報を集約し、地図上で重ね合わせて表示できる情報サービスです。

掲載情報は地形・地質、海象、気象、安全、防災、水産、海域利用・保全といった幅広い分野から200種類以上！

船舶の運航管理や漁業、防災、海洋レジャー、海洋開発など多くの分野で利用可能です。



地図

データカタログ

調整中・一時掲載休止中の情報項目

利用可能なデータ一覧の確認はこちら

最新情報

日本語 ● English
トップページへ戻る

データカタログ

検索可能です

クリア
(250 / 250)件

全項目
海し SAPI の標準項目
調査中・一時停止中の情報項目

	情報名	分類	説明	提供機関
[詳細]	海名	海域名称	主要な海の名前	海上保安庁
[詳細]	海底地形名	海域名称	日本国領の海底地形の名称です。海底地形の名称に関する検討会(JCUPFI)又は海底地形学小委員会(SCUPFI)で承認されている海底地形名については、承認された年を記載しています。	海上保安庁
[詳細]	海底海図範囲	地形・地質	日本国領海域の海洋地図範囲	産業技術総合研究所地質調査総合センター
[詳細]	底質	地形・地質	電子海図に記載のある海底の底質	海上保安庁
[詳細]	等深線	地形・地質	水深のグリッドデータから作成した等深線	海上保安庁
[詳細]	海岸線集	地理境界	「海岸及び接続水域に関する法則」に基づく日本の直線基準	海上保安庁
[詳細]	臨内水線	地理境界	「臨内及び接続水域に関する法律(第一)」に基づく日本の海の外縁線	海上保安庁
[詳細]	海水水温（実況）【気象庁】	海水/水温	日別海水水温の実況値	気象庁
[詳細]	海水水温（日常）【気象庁】	海水/水温	海面水温30日間までの平準値	気象庁
[詳細]	海水塩度平準値（実況）【気象庁】	海水/塩度	日別海水塩度平準値実況値	気象庁
[詳細]	一時的中止中【海面水温（全球）NOAA】	海水/水温	NOAAが提供する「海水温」	米国海洋大気庁
[詳細]	海面水温（全球/GCOM-W AMSR2ver.1）JAXA	海水/水温	水循環変動観測衛星「しずくさ」（GCOM-W）搭載の高性能マイクロ波放射計2（AMSR2）が観測した海面水温。観測時期は各地の地方時における午前18時までは、5秒間隔でデータを出力している。算出領域は海上のみで、単位は「℃」。空対地観測は地球センサより低く、沿岸付近の観測が不可能であるが、當下も観測可能なことから、岸際近傍以外でも海面水温の推定が可能。	宇宙科学研究所研究機構
[詳細]	表面水温(実況) 50m深	海水/水温	日別表面水温(実況)実況 (50m深)	気象庁
[詳細]	表面水温(実況) 100m深	海水/水温	日別表面水温(実況) (100m深)	気象庁
[詳細]	表面水温(実況) 200m深	海水/水温	日別表面水温(実況) (200m深)	気象庁
[詳細]	表面水温(実況) 400m深	海水/水温	日別表面水温(実況) (400m深)	気象庁
[詳細]	表面水温(日常) 100m深	海水/水温	表面水温の30日間までの平準値 (100m深)	気象庁
[詳細]	水温(リンク)	海水/水温	日本沿岸の水温連続観測地点の位置及びその情報（各情報提供サイトの外部リンク）	海上保安庁
[詳細]	【調査中】水温（統計）等深線 50m	海水/水温	日本海洋データセンターが保有する水温データの統計値（水平分布の等深線）	海上保安庁
[詳細]	【調査中】水温（統計）等深線 100m	海水/水温	日本海洋データセンターが保有する水温データの統計値（水平分布の等深線）	海上保安庁
[詳細]	【調査中】水温（統計）等深線 200m	海水/水温	日本海洋データセンターが保有する水温データの統計値（水平分布の等深線）	海上保安庁
[詳細]	【調査中】水温（統計）等深線 400m	海水/水温	日本海洋データセンターが保有する水温データの統計値（水平分布の等深線）	海上保安庁
[詳細]	【調査中】水温（統計）200m	海水/水温	日本海洋データセンターが保有する水温データの統計値（水平分布の等深線）	海上保安庁
[詳細]	【調査中】水温（統計）0m	海水/水温	日本海洋データセンターが保有する水温データの統計値（水平分布の等深線）	海上保安庁
[詳細]	【調査中】水温（統計）0m	海水/水温	日本海洋データセンターが保有する水温データの統計値（水平分布の等深線）	海上保安庁
[詳細]	【調査中】水温（統計）0m	海水/水温	日本海洋データセンターが保有する水温データの統計値（水平分布の等深線）	海上保安庁

The screenshot shows the homepage of the 'Ushir API' website. The navigation bar at the top includes 'Home', 'APIs', '項目一覧', '利用方法', and '利用規約'. The '利用方法' (Usage Method) link is highlighted with a red box. A red arrow points from the top-left text 'タログで確認できます)' to the '利用方法' link. A speech bubble from the top-right text '利用方法は こちらをクリック' points to the same link. Another speech bubble from the right text 'ご利用前に「利用規約」をご確認ください' points to the '利用規約' (Terms of Use) link. The main content area features a large aerial image of a coastal area with the text '海しるAPI' and '海しる（海洋状況表示システム）のAPIを公開しています'. Below this, a section titled '【重要】海しるAPIの新たなバージョンv3の提供開始について' (Important: Regarding the start of providing the new version v3 of the Ushir API) contains detailed information about the API update, including the release date (October 1, 2026), the new features, and the deprecation of the previous version v2.

タログで確認できます)

利用方法は
こちらをクリック

ご利用前に
「利用規約」を
ご確認ください

Home APIs 項目一覧 **利用方法** 利用規約

海しるAPI

海しる（海洋状況表示システム）のAPIを公開しています

APIs

【重要】海しるAPIの新たなバージョンv3の提供開始について

海しるAPIの新たなバージョンとなるAPI v3を提供します。
API v3では、従来の情報項目ごとのAPI提供から、ArcGISの標準的なサービスを基盤とした提供方式に移行します。
これにより、海洋情報をGISデータとしてより容易かつ柔軟に利用・連携できるようになります。

API v3はベータ版（2026年8月27日提供開始予定）、正式版の順に段階的に提供します。
また、ベータ版・正式版の中でも、情報項目ごとに準備が整ったものから段階的に提供します。

提供状況等、詳しくはリリースノート（<https://www.msl.go.jp/data/api/v3-release/>）をご覧ください。

※ **v3正式版の提供開始予定** ※
令和8年（2026年）10月から段階的に提供開始予定

※ **現行のv2 APIをご利用中の方へ** ※
現行のv2 APIは、v3 APIの正式提供から1年後を目途（2027年12月末）に提供終了予定です。
v2をご利用の皆様におかれましては、お手数をおかけしますが、v3への移行をご検討くださいますようお願いいたします。

※ **海しるAPIサブスクリプションキー等について** ※
現在お使いの海しるAPIサブスクリプションキーは、v3でも変わらずお使い頂けます。

「海しるAPI」について

「海洋状況表示システム（海しる）」は、様々な海洋情報を集約し、地図上で重ね合わせて表示できるWebGISサービスです。

「海しるAPI」では海しるに紐着している海洋情報をAPIとして提供しており、JSON、GeoJSONまたはPNG形式でデータを取得することができます。

海しるAPIでは掲載している海洋情報をデジタルデータや画像で取得することができます。
ご利用の流れは以下のとおりです。

- ① 利用規約の確認及び同意
- ② 利用方法を確認します(必要に応じてサブスクリプションキーを取得)
- ③ 取得したいデータを探します
- ④ 希望する出力を選択して取得条件を設定します
- ⑤ データを取得します

※具体的な事例を次ページから説明します

取得したいデータの条件を設定します。（例として海底障害物を取得します）



【重要】海しるAPIの新たなバージョンv3の提供開始について

海しるAPIの新たなバージョンとなるAPI v3を提供します。
API v3では、従来の情報項目ごとのAPI提供から、ArcGISの標準的なサービスを提供方式に移行します。
これにより、海洋情報をGISデータとしてより容易かつ柔軟に利用・連携できるようになります。
API v3はベータ版（2026年8月27日提供開始予定）、正式版の順に提供します。
また、ベータ版・正式版の中でも、情報項目ごとに準備したものを段階的に提供します。



データ「海底障害物」に関するAPIの説明等が表示されます。



次ページ以降では「海底障害物データ取得」の流れについて説明します。
海底障害物は、デジタルデータ(JSON出力)及び画像データ(PNG出力)に対応しています。
例として、次ページにJSON出力によるデータ取得例をご紹介します。

- ※ ここでは、あくまで機能の一部を体験いただくための説明に限りませ
- ※ 事前に試用サブスクリプションキーを取得してください(利用方法ページにて案内されています)
- ※ 必要に応じて利用登録のうえ個別サブスクリプションキーの取得をご検討ください
- ※ APIのご利用には専門的な知識が必要になります(本マニュアルでは説明を省略)

詳細は利用方法ページをご覧ください。

サンプルデータ(例:海底障害物)を取得します。(前ページから継続)

海底障害物 - v2

GET JSON出力

「JSON出力」をクリック

海底障害物 v2

電子海図に記載のある海底障害物（魚礁、沈没物）の観測

JSON出力

地理情報を出します。一度の応答で出力できる地理情報レコードは1000レコードです。クエリパラメータで条件を指定して出力レコード数を調整して下さい。

Request

GET https://api.msil.go.jp/seabed-obstruction/v2/MapServer/{LayerSelection}/query?f={f}&where={where}&geometry={geometry}&geometryType={geometryType}&kinSR={spatialRel}&distance={distance}&units={units}&returnGeometry={returnGeometry}

Request parameters

Name	In	Required	Type	Description
LayerSelection	template	true	integer	ジオメトリ番号を入力します。1はPoint、3はPolygonに対応します。デフォルトは1です。
f	query	false	string	出力形式を指定します。デフォルトはjsonです。
where	query	false	string	フィールドの内容で条件を絞ります。このパラメータが指定されていない場合、全ての内容を取り出します。
geometry	query	false	string	空間フィルタとして適用するジオメトリです。ジオメトリの構造は、ArcGIS REST APIによって返されるJSONジオメトリオブジェクトの構造と同じです。エンベロープとポイントのJSON構造に加えて、より単純なカンマ区切りの構文でジオメトリを指定できます。例: bbox=135.0,35.0,136.0,40.0
geometryType	query	false	string	ジオメトリパラメータで指定されたジオメトリのタイプ。ジオメトリタイプは、エンベロープ、ポイント、ライン、またはポリゴンです。デフォルトのジオメトリタイプはエンベロープです。

「Try It」をクリック

必要に応じて
事前に取得条件
(パラメータ)を
確認してください

※ 画像出力の説明は省きますが同様の処理手順です
※ この例で取得したデータを海しるへインポートした結果は次ページをご確認ください

(取得したデータの一部をテキスト表示したイメージ)

```
{
  "type": "FeatureCollection",
  "features": [
    {
      "type": "Feature",
      "id": 2183,
      "geometry": {
        "type": "Point",
        "coordinates": [134.93489230000012, 34.632921700000054]
      },
      "properties": {
        "OBJECTID": 2183,
        "field_001": "魚礁"
      }
    },
    {
      "type": "Feature",
      "id": 2184,
      "geometry": {
        "type": "Point",
        "coordinates": [134.95048070000007, 34.637841500000036]
      },
      "properties": {
        "OBJECTID": 2184,
        "field_001": "魚礁"
      }
    }
  ]
}
```

ファイル名
test.geoJSON
で保存

海底障害物 / v2 / JSON出力

GET /MapServer/{LayerSelection}/query

Authorization

Subscription key subscription key

Parameters

LayerSelection 1

f geojson

geometry 134.9,34.3,135.5,34.8

geometryType esriGeometryEnvelope

spatialRel esriSpatialRelIntersects

units esriSRUnit Meter

returnGeometry true

+ Add parameter

Headers

Ocp-Apim-Subscript

+ Add header

HTTP request

HTTP

GET https://api.msil.go.jp/seabed-obstruction/v2/MapServer/1/query?f=geojson&geometry=134.9,34.3,135.5,34.8&geometryType=esriGeometryEnvelope&spatialRel=esriSpatialRelIntersects&units=esriSRUnit Meter&returnGeometry=true HTTP/1.1

Ocp-Apim-Subscription-Key:

Send

「必須でないパラメータは削除可能」

「クリック」

画面右側に REST (API) が表示されますので、UIに沿って必要な条件を指定してください。
以下、概略を説明します。
(必要に応じて設定するオプションがあります)

[LayerSelection] ※必須入力
希望するレイヤーを入力(ここでは “1” とします)

[f] ※オプション
出力形式、ここでは “geojson” とします

[geometry] ※オプション
出力範囲、ここでは大阪湾付近とします

[geometryType] ※オプション
デフォルト値

[spatialRel] ※オプション
デフォルト値

[units] ※オプション
デフォルト値

[returnGeometry] ※オプション
デフォルト値

[Ocp-Apim-Subscript] ※必須入力
試用サブスクリプションキーを入力

[HTTP request] ※特に変更の必要なし
ここではそのまま “HTTP” とします

下部にある “Send” をクリックすると “HTP response” が表示されます(ヘッダを含む出力データ)

今回はgeoJSONデータを取得しますので、出力された記述からヘッダを除いてコピーしgeoJSONファイルとして保存してください。

※ “request” はいくつかパターンが用意されています
※ 出力結果が1000レコードを超えると、全てのデータを取得する場合は複数回処理します(利用方法を参照)

取得したサンプルデータ(例:海底障害物)を確認します。(前ページから継続)

※取得したデータはあらかじめ“GeoJSON”ファイルとして準備してください

海しる 海洋状況表示システム

レイヤー

タイムライン

テーブル

レイヤー追加

レイヤー操作

キーワード検索

④ 海域名称

④ 地形・地質

④ 地理境界

④ 海象

④ 気象

④ 安全

④ 海事

④ 防災

④ インフラ・エネルギー

④ 海洋生物・生態系

④ 水産

④ 海域利用

④ 海域保全

④ 航空写真等

④ 経緯度・グリッド

④ 海洋教育

「読み」タブをクリック

読み

保存

作図

算出

リスト

全削除

ファイルを読み込み、地図上にグラフィックを表示させます。

対応ファイル形式:
GeoJSON,KML,CSV,Shapefile(ZIP圧縮),GeoTag付きJPEG,GeoTIFF

ファイルサイズは100MB以下にしてください。

なお、S...
ファイルインポート結果(件数: 1件)
test.gejson : 読み終了

※ドロップまたは参照してアップロード
ファイルを選択 選択されていません

読み

GeoJSON

ファイルをドラッグ&ドロップ

正しく読み込めたことを確認して
右上の×ボタンをクリック

「作図/算出」をクリック

REST(API)で指定した範囲のみ抽出

取得したデータが表示されました

※ これらの説明はあくまで一例であり一連の流れを推奨するものではありません
※ 実際に取得したデータの利用については利用規約をご確認ください